

シニアマネージャー 山尾 宏

暑中お見舞い申し上げます。
 初春よりコロナ禍で、皆さまにおかれましては、生活様式が一変し多方面にわたりご苦労されておられるのではないかと心配しております。また、私たちの営業スタイルも、今までと違いリモートワークや面談自粛など過去に経験したことのない方法を手探りでやっているため、お客様には何かとご不便をおかけしていること、心よりお詫び申し上げます。

今回の禍いで春先より楽しみにしていた予定が、全て中止や延期になりいつまで続くのか先の見えない状況です。オリンピック、高校野球、プロスポーツ、家族での海外旅行や海外留学。晴の舞台に立つために、子どもの頃から努力してこられた選手、ご家族、関係者。お祝いで、子どもからプレゼントされた初めての海外旅行。自分の実力を試すために、語学学校に通って準備していた海外留学。等、それぞれの方々の気持ちを察するとお声がけする言葉を探してしまいます。それでもお客様から「自分だけじゃないから、我慢しないね!」「周りに迷惑かけたらだめだから自粛、自粛!」「また平和な状況になったらね」といったお話を頂くと、少し慰められた気になります。

私自身は、年末の『1万人の第九』や、幾つかのコンサート、ゴルフコンペが中止になったぐらいの影響なので、皆様に比べればショックの度合いは微々たるものです。また、感染予防には人一倍気を付けていることで、幸いにも罹患することなく元気に営業活動を行っており、皆様にお会いできる日を心待ちにしております。
 何かと不便の多い今日ですが、一日も早く平穏な日々に戻りますようお願いいたします。



シニアマネージャー 谷口 精一

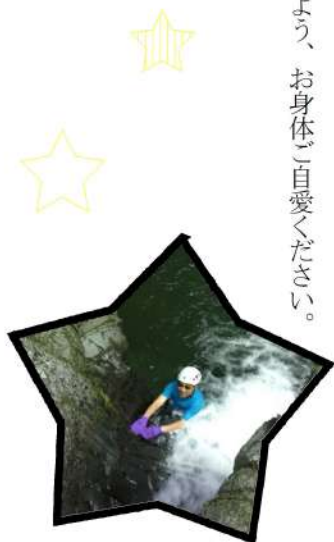
暑中お見舞い申し上げます。「暑い、暑い」と言っても始まりませんね。

私は時間があれば近郊の山などに歩きに行くのですが、夏の楽しみは山歩き+シャワークライミング(川歩き)です。山、川を歩いて滝壺があれば飛び込み、自然の滑り台をすいすい滑ったりします(現在56歳)。普通山道を歩いている時は小さな滝にしか見えなくても、川の中から見上げれば大きく立ち上がる「壁」です。壁(滝)を登る前に、滝壺まで流れに逆らって泳いで行かなければなりません。流れ落ちてくる滝の壁の中に手・足を支えるための見えない窪みを探して滝を渡るのです。水圧は強烈で顔面に受ければ滝壺に落ちます。

まるで先の見えない、今の混沌とした世界情勢を表しているようにですね。ただ、それぞれの分野で専門家に手を携えてもらい、一歩一歩進んでいけば見えないところであっても進んでいけると思っています。私は、その金融・保険の分野で皆様の支えになつていきたいと思っています。

尚、今年の秋より『谷口 超デカプロジェクト「夢」』で相続セミナーを復活します。今回はちよいと大阪を飛び出して(大阪もあります)他都道府県制覇とリモート講義も始めます。それから地元の大阪市内で秋から「歴史ポランティスアガイド」も始まります(コロナの影響で春のツアーは全て中止)。共に興味がいございましたら連絡下さいね。整次第ご案内させて頂きます。

猛暑に負けないよう、お身体ご自愛ください。



暑中お見舞い申し上げます

この度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。また、最前線で私たちの健康福祉に貢献して下さっている医療従事者・介護従事者の方々に心より敬意を表します。一日も早く事態が終息することを願っております。
 今回、コロナに対しての治療薬・ワクチン等が開発されない中で、自粛生活や、毎日不安を煽るような報道で、ストレスや不安を感じた生活を過ごされたと思います。大阪市内も訪日客はいませんが、やっと少しずつ通常の街並みに戻ってきております。ただ、蒸し暑くてもマスクを手放すことができないので、とても息苦しく感じます。皆様もコロナだけでなく、熱中症にもお気を付けください。

昨年、次男の高校野球が終わった時に「来年は久しぶりに家族旅行に行くぞ!」と思っていたのですが、今年はコロナでお預けになりました。非常に残念です。そう考えると旅行客で成り立っている観光業は、出口が見えないのでとても大変だと思います。WITHコロナでも、楽しい生活が出来るよう工夫をする必要がありますね。



6月14日に、釣りと社交ダンスが大好きな父が他界しました。今年の正月は普通の生活が出来ていましたが、がん特有の急激な進行で家での在宅介護と治療が難しくなり、父の希望で3月から緩和ケアの病院に入院していました。個室での入院だったので、個室料込みで月に50万程かかりました。幸い私は保険の仕事に従事しているので、全てが保険等で賄うことができました。改めて保険屋が保険の必要性を感じてしまいました。病氣と闘いながらお金のことで心配しないように、今一度皆様もどのような保険に加入しているか等の確認をお勧めします。お気軽にご相談ください。

また、昨年の2月に両親と弟と私の4人で城崎にカニ旅行に行ったのが最後の旅行でした。結婚したら、なかなか実家の家族だけの旅行は出来ないと思いますが、後で後悔しないために可能であれば皆さまも実家の家族旅行を楽しまれてはいかがでしょうか?
 B型の父は、倉庫に釣り道具を整理しており沢山の釣り道具があったので、これを機会に釣りの趣味の中に入れて海釣りも始めようと思ひます。



アンテナ通信VOL. 20

奈良県桜井市大福646-1

☎ 0744-45-2331

開蔵時間: 9:30~16:30

定休日: 土日祝 盆 年末年始

HPで素敵なレシピも公開中!



今回谷口がご紹介させていただく「大門醤油醸造」様は、創業100年を超える奈良県桜井市にあるお醤油の醸造・販売のお店です。『となりの人間国宝さん』『ちんぷいぷい』『モーニングバード』他多くのメディアに取り上げられご存知の方も多いかと思ひます。四代目蔵主、大門奈良子様曰く「昨今は加工された味が美味しいという時代になってきていて、では元々の味はどんなだったのか。昔の醤油の味を知ってもらいたい」ということで、手間と時間がかかるにもかかわらず吉野杉の木樽を使い、原料は国産・無農薬にこだわり続けており、多くの大門醤油ファンをお持ちです。
 一度昔の醤油を味わってみてはいかがでしょうか? 現地だけでなくネットでの販売も行っており、購入しやすくなっております。是非「大門醤油醸造」で検索してください。ご自宅用・ご贈答におすすです。

T・H 保険 通信

〇発行元〇

株式会社
T・H保険コンサルタント

大阪府中央区
南船場2-11-12-8F
TEL06(6120)2405
FAX06(6120)2412

大門醤油醸造



富嶋の家族大好き



この半年間、色々な出来事がありました。

昨年まで高校野球をしていた次男が、なんとか後期受験で希望する大学に入学することができました。楽しみにしていた大学生活は、コロナの影響で3日間しか学校に行けず、授業もオンラインで行っているようで「オンラインでは友達もできない!」と嘆いています。

また、3月から入院していた父親が6月14日に他界しました。ある程度覚悟はしていたつもりでしたが、告別式が終わるまでは自分でも驚くほどよく泣きました。親の死は、順番とはいえ悲しすぎますね。ただ、出棺後の精進落としの挨拶をさせていただき前に、就活をしている長男の希望する会社から内定の連絡がありました。「無理かな。」と思っていた第一希望の会社だったため「爺ちゃんのお陰や」と喜んでいました。悲しみの中での嬉しいニュースでした。



編集後記

コロナの影響で、家で過ごす時間が増えたため「お家時間を有意義に過ごしたい!」と思い、運動が苦手な私ですが筋トレを始めました。なかなか思うように筋肉は付かないですが、諦めずに頑張りたいと思います。

事務員 二木



弊社ではZOOMを用いた「オンライン面談」を取り入れ、お客様の利便性向上を図っています。事前にお客様へメールで接続情報をお知らせいたします。ご利用は予約制となりますので、担当者へお申し付けください。

オンライン面談承ります!

今回は数年ぶりに、OBの中山 弘さん宅に山尾が訪問いたしました。6月下旬にご訪問させて頂き、コロナ禍でほとんど自宅におられたようですがとてもお元気を感ずることが出来ました。以前ご担当されていたお客様のお名前を出すと「〇〇さん、元気かなあ」「久しぶりに会いたいなあ」と、とても懐かしそうに話しておられました。別れ際に「皆さまによりしくお伝えください」とのことでした。

OB訪問

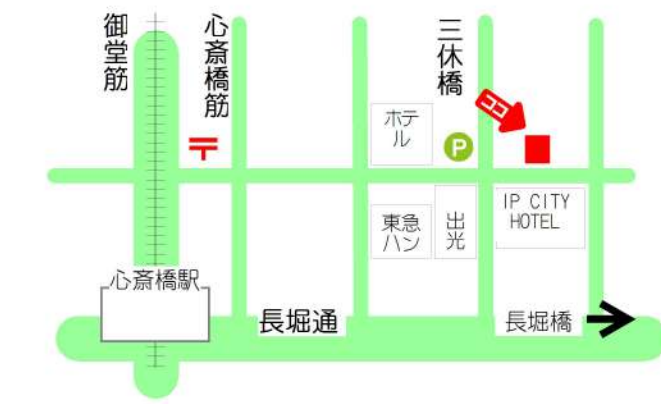


ホームページへは
こちらのQRコードから



是非ご覧ください

- ・保険商品のご案内・お客様の声
 - ・スタッフ紹介・ブログ・お知らせ
- などT・H保険を知って頂ける情報がございます。



株式会社 T・H保険コンサルタント
〒542-0081
大阪市中央区南船場 2-11-12
アオヤマビル8階
TEL: 06(6120)2405 FAX: 06(6120)2412
ホームページ <http://www.th-hoken.co.jp/>

営業担当 横山 良平

皆様こんにちは。TH保険コンサルタントの横山です。

今年は東京オリンピックや春・夏の甲子園の中止、プロ野球などの延期が決まるなど悲しいニュースが続きました。それでも、少しずつ元の生活に戻れるように一致団結しみんなで乗り越えていきましょう。

さて、早速ですが今年の5月に誕生日を迎え29歳になりました! 20代と言えるのもあと1年しかない中で、最後に何か目標を立てようと考えてみました。その結果、「再会」という二文字が頭に浮かびました。なぜ「再会」なのかというと、高校時代の野球部が集まる草野球に加入したり、ここ最近ではInstagramやFacebookなどのSNSで、学生時代の同級生や前職でお世話になった方々の結婚・出産・活動を目にすることが多く見られました。決して結婚に焦りを覚えたわけではない(はず)ですが、みなさんの元気な姿を見るとこのような状況でも会いたいと感じるようになりました。

今の仕事もそうですが、お会いして お話することでさまざまな気付きや思わぬ発見が見つかります。保険という形でお守りすることも大切ですが、繋がりを大事にすることで万が一の時に役に立てる、そんな関係を築けることを目標としております。そのため、気兼ねなく遠出ができるようになりましたら沢山の方と再会を果たし、懐かしい思い出話をしたいと思っております。

その時にはお酒もたくさん飲みたいですが、30代に突入すると必ずどこから痛みが来ると周りから呪文のように言われているので、「体調管理」も併せて目標にしたいと思います...

最後に一日も早く皆様と笑顔で再会できるのを楽しみにしております。

華の29歳横山より



藤田 文



暑中お見舞い申し上げます。毎年思いますが、今年も暑い夏ですね。新しい日常の実践と暑さ対策の両立に悩みながらの日々です。

今年から我が家では、災害や外出自粛に備えて「ローリングストック」を始めました。少しご紹介すると「非常食の備蓄だけでなく冷蔵庫なども活用し、約1週間の食料を備えよう」という方法です。大災害発生時、公的な支援物資はすぐに届かないかもしれません。コンビニやスーパーマーケットなどのお店にも人が殺到し、すぐに商品が無くなるかもしれません。これまで、備蓄は3日分あれば十分と言われていましたが、広い地域に甚大な被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあるそうです。

1週間分と言われると急にハードルが上がるように思いますが、非常食だけに捉われるのではなく冷蔵庫の中をはじめ、お家の中を見回せば、1週間分の備蓄となる可能性があります。例えば、普段からちょっと多めに食材を買い置きして置けば、最初の3日間ほどは冷蔵庫の中の物を食べてしのげます。我が家の冷蔵庫には普段からご飯や食パン、ソーセージやお肉、きのこなどを常備しています。常温の保存のものでは、缶詰、レトルトの食材も最近はとても美味しいですね。次の3日間は、いつもローリングストックしている食材で賄います。非常食というと「気がついたら消費期限が大幅に過ぎていて全て廃棄した」といった失敗が起こればちです。

ローリングストック法は日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法です。この方法なら普段から食べているものが非常時の食卓に並び、安心して食事をとることができます。ガスや電気が止まった時のことも考え、カセットコンロとボンベも常備。ストック食材を食べていくことでフードロス問題も改善するのでは?と期待しています。